

東京の治安を守る110番

110番で伝えてほしいこと

- 何があったのか
- 場所（住所や目標となる店舗や建物、階数等）
- 通報の何分前のことか
- 被害や目撃の状況、けが人の有無
- 犯人の性別、人数、年齢、服装や逃走方向等

住所が分からないときは、交差点名や建物等の目標物を伝えてください。
また、交通標識や信号機の管理番号で通報（発生）場所の特定ができます。
電柱や自動販売機には住所が表示されているものもあります。



事件 事故 助けて！ そのとき 110番 悩み・心配 #9110

「助けて！」緊急を要するあなたの訴えに素早く対応するため、通信指令本部では、経験豊富な110番受理担当者と無線指令担当者が、最新のシステムを駆使しながら、通報を受理すると同時に現場の警察官に指令を行っています。

通信指令本部は、110番への迅速な対応と正確な指令という通信指令業務を通じて、東京の安全と安心を守っています。

110番受理から犯人検挙までの流れ



110番の受理



無線で警察官に指令



指令を受け現場へ急行



警備艇による水上からの追跡



パトロールカーによる追跡



ヘリコプターによる上空からの追跡

令和5年 110番入電状況

総入電件数 約213万件
平均入電件数 約5,840件
(1日平均)
最多入電事案 交通事故
(約23万5,090件)



犯人検挙

110番の仕組みについて、
詳しくはこちらをご覧ください。



事件・事故などは

緊急通報ダイヤル110番

- たった今、犯罪被害や交通事故に遭った
- 事件や交通事故を目撃した場合に
110番をしてください。

悩みごと・心配ごとなどは

警察相談ダイヤル#9110

- 警察署でも相談を受け付けています。
- 警察相談ダイヤル#9110にかけると、警視庁総合相談センターにつながり、相談内容に応じて、専門の窓口をご案内しています。

110番

#9110